

# 事業報告書

令和 6 年度

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

学校法人 常磐会学園

認定こども園

常磐会短期大学付属茨木高美幼稚園茨木高美幼稚園

## 法人の概要

### (1) 学校法人常磐会学園

- ・住所：大阪府大阪市平野区平野南4-6-7
- ・電話番号：06-6709-3170
- ・ファックス：06-6709-2201
- ・ホームページ：<https://www.tokiwakai.ac.jp/aboutus/tokiwakaigakuen>

### (2) 理事長名：岡本 和恵（おかもと かずえ）

- ・理事10人、監事2人 定例理事会年11回開催（毎月開催、ただし8月を除く）
- ・評議員23人 定例評議員会年5回開催（4月・5月・10月・1月・3月）

### (3) 設置する部門名

- ・常磐会学園大学
- ・常磐会短期大学
- ・認定こども園 常磐会短期大学附属常磐会幼稚園
- ・幼保連携型認定こども園 常磐会短期大学附属いずみがおか幼稚園
- ・認定こども園 常磐会短期大学附属茨木高美幼稚園

### 認定こども園常磐会短期大学附属茨木高美幼稚園

- ・住所：大阪府茨木市小川町7-3
- ・電話番号：072-622-2052
- ・ファックス：072-622-2067
- ・ホームページ：<http://www.tokiwakai.ac.jp/ibarakitakami/index.html>

## 令和6年度 事業実績

### 1. 園児の確保

#### (1) 園児数（令和7年3月31日現在）

| 歳児   | 認可定員 | 認可定員内訳 | 1号認定 | 2号認定 | 3号認定 | 実員内訳 | 実員合計 | 組数 |
|------|------|--------|------|------|------|------|------|----|
| 1歳児  | 27   | 12     |      |      | 27   | 12   | 27   | 1  |
| 2歳児  |      | 15     |      |      |      | 15   |      | 1  |
| 満3歳児 | 180  | 60     | 4    | —    |      | 60   | 174  | 3  |
| 3歳児  |      |        | 41   | 15   |      |      |      |    |
| 4歳児  |      | 60     | 36   | 18   |      | 54   |      | 2  |
| 5歳児  |      | 60     | 46   | 14   |      | 60   |      | 2  |
| 合計   | 207  | 207    | 127  | 47   | 27   | 201  |      | 9  |

#### (2) PRの方法

- ① ホームページのリニューアルに伴い、未就園児の案内や入園説明会の受付がスムーズで、在園児保護者への情報提供、必要書類のダウンロード等も可能になった。お知らせ欄では頻繁に保育の様子を更新していることで、幼稚園で大切にしていることを啓発した。
- ② 未就園児親子クラス「ニコニコ」では、募集対象児を他の幼稚園・保育所に在籍していない幼児とし、令和7年度3歳児の新入園児確保に努めた。
- ③ 地域の未就園児親子への園開放「ピヨピヨ」は予約なしでも参加できる年間登録制に変更した。対象児の年齢制限をやめ、天候にかかわらず子育て支援室やエントランスの絵本コーナーを開放したことでより幼稚園に親しみを感じ継続して参加する親子が増えた。
- ④ 家庭と地域の連携事業の一環として、地域のボランティア団体主催の祭りへの出演や地域の文化祭の作品出展等の地域行事に参加した園児の姿を通して、本園の周知につながった。
- ⑤ 8月下旬のホームページリニューアルに合わせて新入園児募集の広報を開始した。入園説明会（予約制）は集団で実施したことで多くの方に参加してもらえるようになった。また、3号認定児については茨木市の募集時期に合わせ別日程で説明会を実施した。各説明会ではパワーポイントを利用し、こども園の良さと質の高い教育保育を目指していることを見える化した。同時に施設見学・個別の質問時間などを設けたことで保護者の不安に対して説明会後も丁寧に応え園児獲得に繋ぐことができた。
- ⑥ 2号3号認定の利用決定時期の分散に合わせ、施設見学や問診会を実施した。入園予定児の個々の育ちの状況の多様化と保育者確保の課題により、1歳児は年度途中での増員を予定している。

#### (3) 入園の方法

- ・1号認定：入園説明会に参加し本園の教育保育方針を理解した上で入園を希望する専願より入園願書を受け付けた。まずきょうだい関係と未就園児ニコニコを優先し残りの枠を受付けた。専願希望者を優先したことで、1号認定入園辞退者は昨年より減少した。
- ・2、3号認定：茨木市の利用者選考方法に沿って行った。入所決定後、1号認定同様に親子面談を実施した。1号認定に同じく本園のあり方についての理解を確認し入園を受付けた。
- ・入園希望者は親子面接にて子ども観察を行い、療育を受けている子どもに関しては入園後の保育時間の相談や今後の連携について関係構築に努めた。アレルギー給食提供児保護者とは別日、給食業者、園の管理職、園の看護師と面談を行い、入園前より安全管理に努めた。

### 2. 教育・研究の推進

#### 【教育目標】

“ゆたかなこころ”と“たくましいからだ”をもち主体性のある幼児の育成をめざす

- ・力いっぱい遊ぶ明るく元気な子ども
- ・なかよく助けあって遊べる子ども
- ・よく見、よく聞き、よく考え、自分の力でやりぬく子ども
- ・心の優しい子ども
- ・素直に表現する子ども

#### 【重点課題】

- ・園の教育・保育方針に沿った子どもの育ちを保護者や地域に伝え、本園教育の理解を推進する。
- ・認定こども園としての1歳から5歳までの育ちの連続性を考える。
- ・園内での研修・研究を充実させ、教職員の資質向上と保育の質の向上を図る。
- ・小学校や地域との連携、交流活動の充実を図る。

【研究テーマ】

- ・「1歳児から5歳児までの育ちの連続性を理解する」
- ・「園内研修の充実を図り、保育の質の向上をめざす」

(1) 認定こども園としての教育・保育の創造

- ①2年目を迎える認定こども園として、1歳児から5歳児までのそれぞれの育ちの理解をしながら意図的に子どもの行き来ができるように日々の計画を見直した。
- ②子どもの活動の一場面を写真やエピソード事例としておこし、人や物へつながる育ちの連続性をよみとり、「つながる」子ども理解や保育の充実につなげた。
- ③茨木市の非認知能力育成の取組みとも照らし合わせ、子どもの育ちを見極めながら保幼こ小中の育ちのつながりを意識した交流会に参加し、園内で啓発した。
- ④教育課程・保育教育課程、指導計画のベースを基に日々の見直しを進めた。短期計画の記述の仕方や記録の残し方について保育者一人一人が再考し取り組んだ。
- ⑤短期の計画では各担当者が「五領域」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識しながら長期を見据えた計画ができていないか教育課程と照らし合わせてきた。
- ⑥子どもが主体的に活動できるような援助や環境構成、行事のあり方について考えあう場を設け、学びあった。
- ⑦1歳児から5歳児の好きな遊びの中での育ちを意識しながら、ホームページの在園児向けお知らせ欄にて配信を定期的に行ったことで、日常の幼稚園の様子、園の願いを感じ、教育保育の取り組み啓発につながった。
- ⑧1・2歳児クラスのポートフォリオは保護者からは一人一人の育ちがよくわかると好評であるが作成する時間の確保は課題であるため、引き続きシフト上の人的配置を工夫が必要である。
- ⑨本園の保育内容や遊びがつながるよう専門講師に見ていただき、園内研修会の充実をすすめる保育者の資質向上に努めた。また、専門講師から見た高美幼稚園の保育の日々の環境の再構成についても討議を重ねてきた。
- ⑩認定こども園となった付属三園と短大、大学が連携をとり、地域性を考慮しながらも互いに学ぶ研修を積極的に受講し、互いの資質向上ができるよう図った。
- ⑪園内研修の取り組みを年度末に「保育の芽」にまとめ発行した。
- ⑫教職員の入退勤務時間を管理システムにてICカードで打刻するようになった。働き方に対する教職員の意識が高まった。

(2) 園児の生活の充実と安全確保

- ①園の看護師が子どもの病気・ホームケアの簡易ガイドを作成したことで教職員が感染症などについての周知を図った。
- ②「ほけんだより（冊子）」を看護師と連携して見直し、保護者、園の職員に配布し周知した。特に特定の感染症、疾病に関して、医療圧迫と保護者負担の軽減のため、保護者記入の登園届があれば登園を許可するよう変更した。

(3) 特別活動

- ①外部講師による指導を受け、子どもたちの遊びがより豊かになるよう計画した。
  - ・「わらべうた遊び」（年8回、年中児対象）
  - ・「英語遊び」（年8回、年長児対象）
  - ・「運動遊び」（年12回、全園児対象）
  - ・「絵画遊び」（年3回、満3～5歳児対象）
  - ・「太鼓遊び」（年10回、年長児対象）
- ②常磐会学園の吹奏楽団演奏や人形劇、けん玉、LaQなど“遊びのスペシャリスト”として園内の遊びの刺激になるよう時期を選んで誘致したことで、その後の遊びに繋がった。
- ③地域の各中学校の職業体験を受け入れ交流を行ったことで、中学生が未来の保育教諭へのあこがれをもったり幼児への愛情を感じ長期休業に再来したりした。中には本園の修了児がいたことで、同じ地域で子育てをする保護者の関心も高かった。
- ④絵本コーナーの充実とともに絵本の貸し出しについて見直した。できるだけ多くの親子に絵本に触れてもらえるよう毎月絵本の貸出し期間を設け降園時間の多様化に応えた。親子が触れ合いながら絵本を読んだり選んだり一緒に返却をしたりする機会に繋がり、毎月貸出期間は何回も借りることができることで、継続した絵本コーナー利用者が増えた。

## (4) キンダーカウンセラー事業（月 1～2 回）と特別支援教育

- ①インクルーシブ教育について担任だけでなく、常磐会学園大学とも連携し様々な特性、支援の必要な子どもに対する理解が深まるよう学び、みんなが過ごしやすい園内環境と指導方法を見直す意識が高まった。
- ②園児との関連する療育機関との連携を定期的に継続していくことで、保護者の不安軽減や日常の個別指導の向上につながった。
- ③茨木市から派遣される巡回相談の回数を増やし有効に活用したり、茨木市から派遣される特別講師による支援児についての指導を定期的に受けたりすることで、園の実態を茨木市と連携したり専門性のある子ども理解を学んだりする機会になった。

## 3. 人事・組織（令和 7 年 3 月 31 日現在）

|      | 令和 6 年度 | 備 考                |
|------|---------|--------------------|
| 園 長  | 1       |                    |
| 教 頭  | 1       |                    |
| 主幹教諭 | 2       |                    |
| 指導教諭 | 2       |                    |
| 教 諭  | 9       | 内 4 月より産休育休 2 名    |
| 専任職員 | 2       | 事務担当 2 名           |
| 兼任教諭 | 9       | 派遣教諭 1 名含む         |
| 兼任職員 | 4       | 派遣事務 1 名含む、看護師 2 名 |
| 合 計  | 30      |                    |

## 4. 施設・設備の整備

- (1) 建物・施設
- ・ガスメーター周りのフェンス設置
  - ・令和 7 年度 4 月 1 日の園名改定に伴う園名変更工事
- (2) 教育研究機器備品
- ・プール用テント
  - ・園児管理用タブレット 2 台
  - ・折り畳みホワイトボード
  - ・わんぱく砦（スロープ&クライム）
  - ・預かり保育用ミニキッチン
- (3) 管理機器備品

## 5. 収支実績

（単位：円）

|         | 事業活動収入      | 事業活動支出      | 基本金組入前<br>当年度収支差額 | 令和 6 年度 学納費                  |             |            |
|---------|-------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|------------|
| 令和 4 年度 | 491,381,921 | 357,304,163 | 134,077,758       | 教育充実、<br>施設整備費               | 満 3 歳児・3 歳児 | 60,000 円   |
|         |             |             |                   |                              | 4 歳児        | 55,000 円   |
|         |             |             |                   |                              | 5 歳児        | 50,000 円   |
| 令和 5 年度 | 232,048,960 | 217,108,947 | 14,940,013        | 教材費                          | 1～5 歳児      | 月額 3,600 円 |
|         |             |             |                   | 給食費<br>(3 号認定児は保<br>育料に含まれる) | 1 号認定児      | 月額 4,700 円 |
| 令和 6 年度 | 232,049,499 | 246,369,710 | △14,320,211       |                              | 2 号認定児      | 月額 7,500 円 |
|         |             |             |                   | 入園事前準備費                      | 3,000 円     |            |